



学ぼう!SDGs

～みんなで考える世界の目標～

第6回 目標4「質の高い教育をみんなに」

4 質の高い教育を
みんなに



目標4「質の高い教育をみんなに」

～すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する～

15歳以上で読み書きができない人は世界に約7億5000万人（2016年）もあり、そのうちおよそ3人に2人が女性です。すべての人々が、性別や年齢問わず学習する機会を用意することが急務です。

わたしたちができる身近な取り組み

■地域の人々と一緒に学ぶ場所をつくろう！

なぜ、読み書きのできない人がいるのでしょうか。理由はさまざまですが、世界には貧しくて家計の為に学校に行けずに働いている子どもたちや、地域に先生がおらず学習を受けられない子どもたちがいます。日本でも、いじめなどの理由から学校に行けずにいる子どもたちがいます。近年では、学校と地域が協力して学習の場を提供する活動が進んでおり、地域のボランティアでは、放課後に開かれる「アフタースクール」にて勉強や宿題の指導をしてもらえる学校現場以外での学びが行われています。

■みんなが学習しやすい空間をつくろう！

発達障害や身体障害、さまざまな障害をもつ子どもたちが同じ教室で学ぶことがあります。このとき、単に特別扱いをするのではなく、個性に応じた配慮を意識して誰も困らない空間づくりの工夫をすることが大切です。また、LGBTについても配慮し、お互いがお互いを尊重し合えるやさしい気持ちを忘れないようにしましょう。

JAようてい職員が考えるSDGs関連事業

JAようていの「質の高い教育をみんなに」

- ・青年部女性部を対象とした研修会の実施
- ・畑作物栽培講習会の実施
- ・実習生の受入
- ・職員研修会
- ・資格取得時の奨励制度
- ・管内小学校、幼稚園等における食農教育の実施

今後取り組むべき「質の高い教育をみんなに」

- ・中学校へ食農教育協力
- ・資格取得助成等の充実化による職員の学習意欲の向上
- ・地域住民向けの食に関するイベントの開催回数を増やす
- ・農業高校と連携した教育機関への積極的な協力

参考：基礎から事例まで紹介！【SDGs4. 質の高い教育をみんなに】の内容と実践例 (<https://mirai.jp/leader/sdgs/6>)